

## 1. コミュニティバスの利用者数・収支率の推移

### ○年間利用者数の推移（H26年度－H30年度）

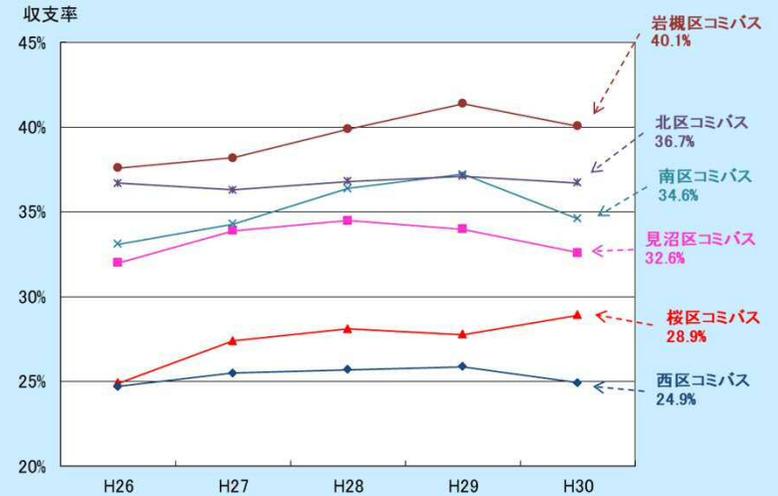
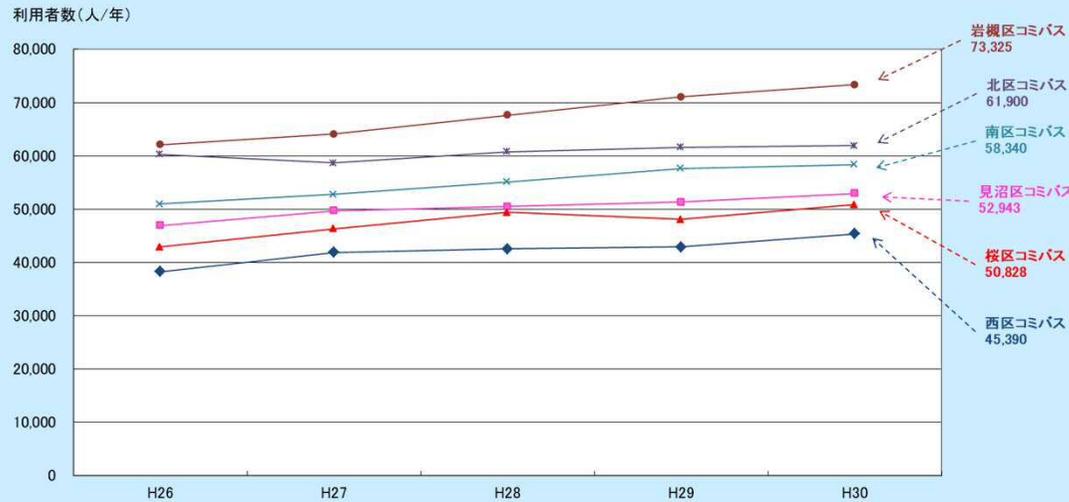
- 岩槻区、南区、見沼区、西区の利用者数は直近の5年間で順調に増加している。
- 桜区はH28年度～H29年度にかけて利用者数が減少したが、H29年度～H30年度にかけては増加に転じ、H28年度の利用者数を上回っている。
- 北区の利用者数は直近の5年間で概ね横ばいである。

※平成30年度コミュニティバス（6区・6路線平均）の一人当たり輸送コストは以下のとおり。  
一人当たり輸送コスト：約618円/人（利用者負担：約169円/人 + 市補助：約449円/人）

### ○収支率（実績）※の推移（H26年度－H30年度）

- 岩槻区では平成29年度～平成30年度にかけて収支率が減少したが、40%を上回る収支率を維持し続けている。
- 桜区では利用者増と同様に収支率が向上しているが、他の5路線では収支率が減少している。

※収支率＝運賃収入（実績）÷運行経費（運行経費には車両償却費等は含まれない）



### 【今後の対応方法（案）】

- 西区、見沼区、岩槻区については収支率向上のため、運行改善の検討を行っている。
- 南区については今年度収支率向上を図るため、運行改善の検討を行う。
- 北区については昨年度より収支率が減少しているものの、概ね横ばいのため今年度の動向を踏まえ、運行改善に向けた検討の有無を判断する。

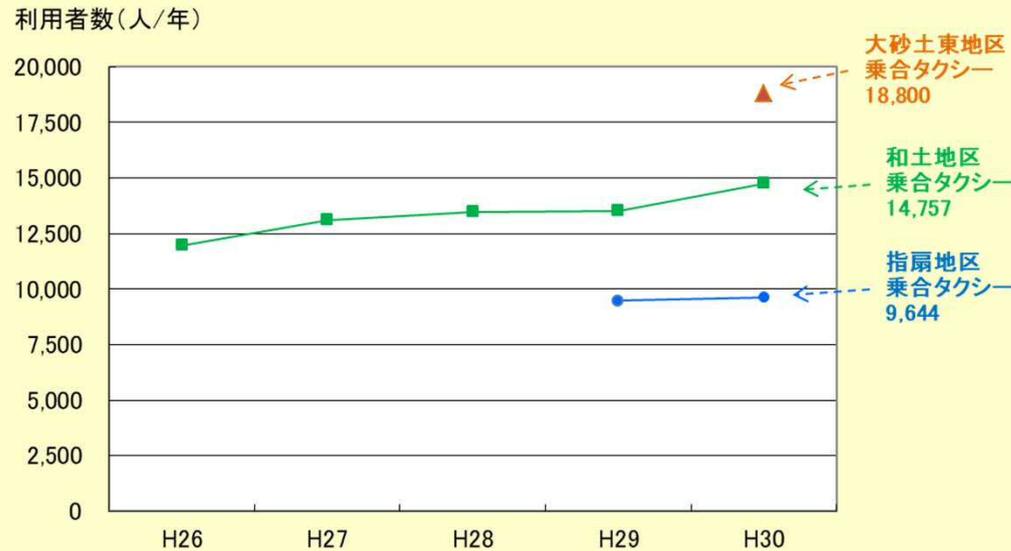
# コミュニティバス等の利用状況について

## 2. 乗合タクシーの利用者数・収支率の推移

### ○年間利用者数の推移 (H26年度-H30年度)

- 本格運行中の岩槻区和土地乗合タクシーの利用者数は、増加が続いており、H29年度～H30年度にかけて、利用者数が大きく増加した。
- 西区指扇地区の利用者数は、概ね横ばいである。
- 見沼区大砂土東地区の利用者数は、18,800人と3路線で最も多い。

※平成30年度乗合タクシー(3地区・3路線)の一人当たり輸送コストは以下のとおり。  
一人当たり輸送コスト:約694円/人 (利用者負担:約285円/人 + 市補助:約409円/人)

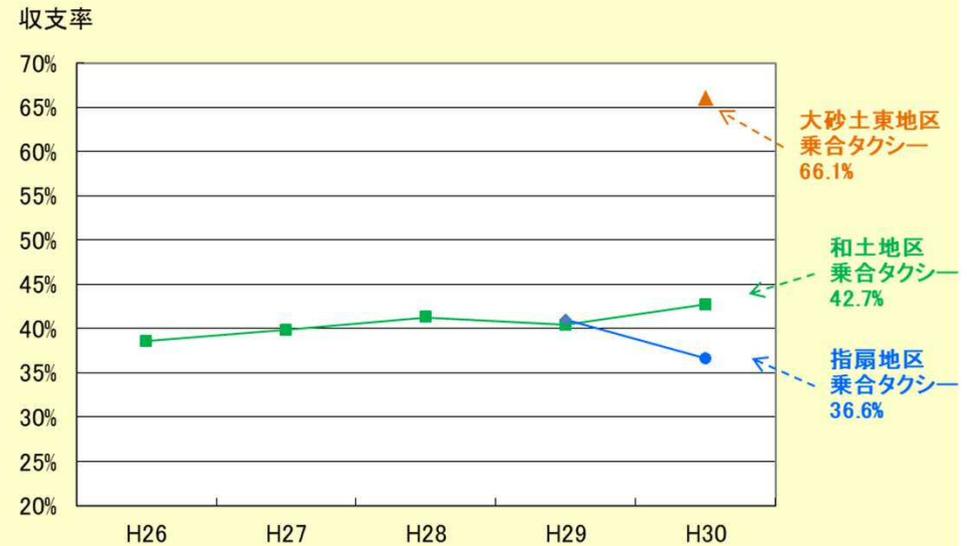


※参考(実証運行中の地区)  
片柳西地区5,639人[H30.4~H31.3]  
並木・加倉地区4,067人[H31.1~H31.3]

### ○収支率(実績)※の推移 (H26年度-H30年度)

- 岩槻区和土地乗合タクシーの収支率は、H30年度時点で約43%と前年度から増加している。
- 西区指扇地区乗合タクシーはH30年度時点では約37%と、H29年度に比べて収支率が減少している。
- 見沼区大砂土東地区乗合タクシーの収支率は、約66%であった。

※収支率=運賃収入(実績)÷運行経費(運行経費には車両償却費等は含まれない)



※参考(実証運行中の地区)  
片柳西地区19.9%[H30.4~H31.3]  
並木・加倉地区37.6%[H31.1~H31.3]

### 【今後の対応方法(案)】

- 指扇地区については、収支率が減少しているものの運行改善をして間もないため地域組織と協力して周知活動を行いながら、今後の状況を見据える。
- 実証運行中の片柳西地区については収支率向上に向けた運行改善について今年度検討する。
- 実証運行中の並木・加倉地区については、収支率が40%に達していないものの実証運行を開始後、約2か月間の実績のため、引き続き地域組織と協力し周知活動を行いながら、今後の状況を見据える。